

矢川駅南口駅前広場(交通広場)と、道路の整備を検討しています

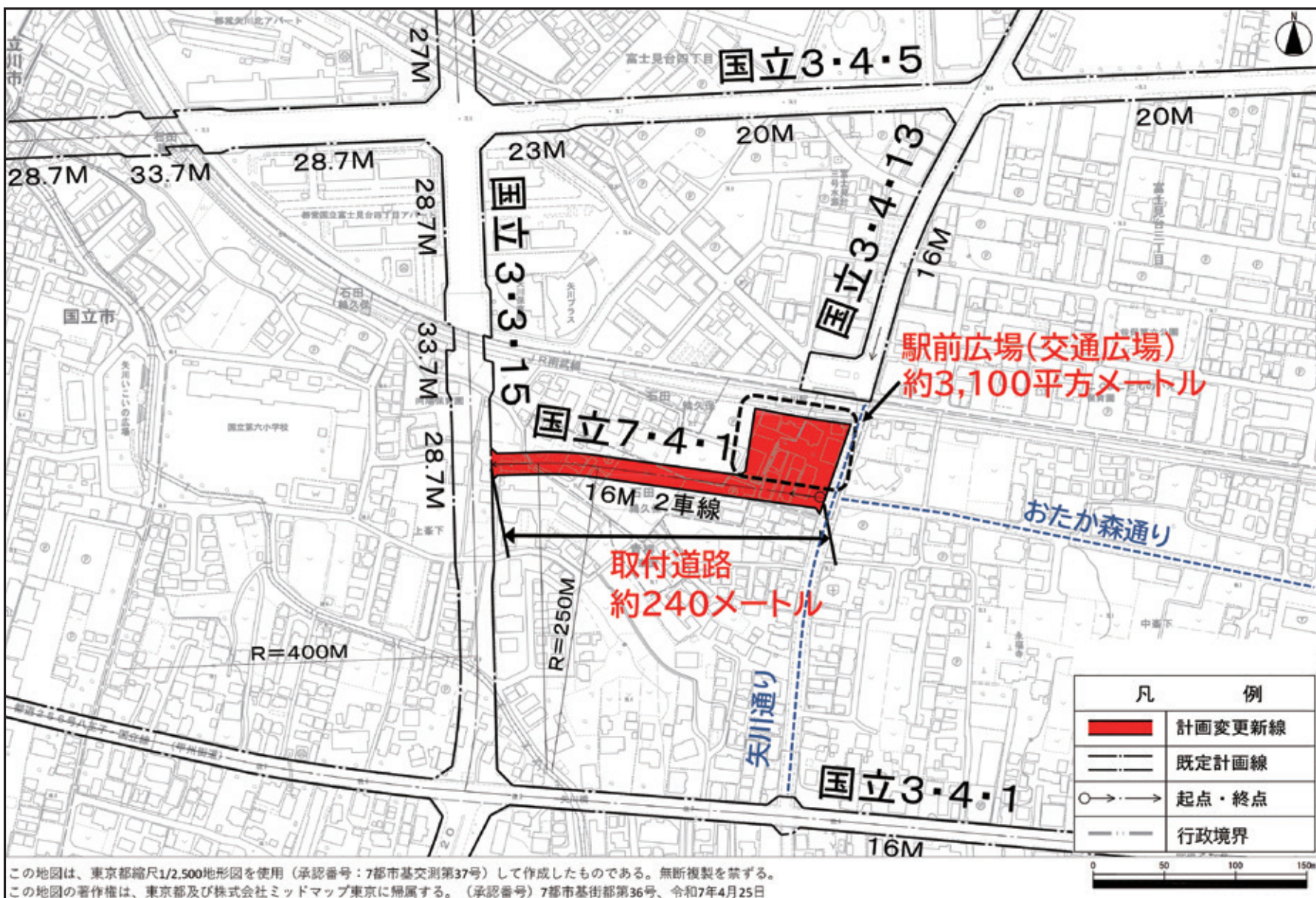
市では、JR南武線矢川駅周辺における歩行者・自転車・バス・タクシー・自家用車等が、安全・円滑に駅や駅周辺の地域を利用し、災害時などには市民の生命を守る一時避難場所としても利用できる北口交通広場の改修、南口交通広場の整備、南口交通広場へアクセスする道路の整備を検討しています。

南口交通広場と、この広場へアクセスする道路を、国立都市計画道路7・4・1号とする都市計画の素案を作成しました。

※「交通広場」は「駅前広場」の都市計画上の用語です。※以下、交通広場へアクセスする東西方向の道路は取付道路と表記しています。

矢川駅南口駅前広場(交通広場)等の都市計画素案

国立都市計画道路7・4・1号鷗久保上峯下線(素案) 計画概要図



この地図は、東京都縮尺1/2,500地形図を使用(承認番号:7都市基交測第37号)して作成したものである。無断複製を禁ずる。
この地図の著作権は、東京都及び株式会社ミッドマップ東京に帰属する。(承認番号)7都市基街部第36号、令和7年4月25日

ポイント

- ①南口交通広場は、矢川通りに隣接して配置します
- ②自動車は、取付道路を経由し南口交通広場へ進入できます
- ③取付道路の整備により、対象区域内の東西の主要な交通ネットワークを確保します
- ④取付道路は、大型の緊急車両も通行できる幅員で、周辺地域の安心・安全が広がります
- ⑤取付道路とおたか森通りの沿道の土地利用の活性化が期待されます

- ▶道路の位置：国立市大字石田字 鷗久保～国立市大字谷保字上峯下(道路の東側が起点、西側が終点)
- ▶道路の延長：約240m ▶道路の構造：車線の数が2車線、道路の幅員は16m
- ▶その他：取付道路の一部として、約3,100㎡の交通広場を設置

1面～4面の内容については、**問**南部地域まちづくり課計画整備係までお問い合わせください。

■都市計画素案作成までの経過

国立市都市計画マスタープラン 第2次改訂版

国立市都市計画マスタープランは、住民の意見を反映し、市が自ら定める都市計画の方針を示した計画です。ここでは、JR矢川駅、JR谷保駅を中心とする周辺地域を、地域拠点に位置付けています。

南武線沿線まちづくり方針

鉄道が立体化された後のまちの将来像として、交通結節を高める駅前広場の整備や、駅周辺へのアクセス道路の整備を示しています。

矢川駅周辺の現状

JR矢川駅北口周辺

- 交通広場にはJR国立駅、JR谷保駅のようなタクシーの乗降場がない
- 停車車両や自家用車等の流入により、バスの通行が妨げられる場合がある（写真①）
- 矢川通りのバス乗車待ちの混雑から、付近の横断歩道の通行に危険が生じている（写真②）
- 朝夕の混雑時には、円滑な歩行者移動が妨げられる場合がある



①狭い交通広場の空間



②混雑する矢川通り



③JR矢川駅南口



④踏切の様子



⑤踏切の様子



⑥道路幅員4m未満の道路

JR矢川駅南口周辺

- 改札口へ行くには、踏切付近にある階段を利用する必要がある（写真③）
- エレベーターを利用するには、踏切を渡り北口まで行く必要がある
- 朝夕の時間帯は、駅周辺の矢川通りの歩道は歩行者・自転車が集まり、混雑する（写真④⑤）

JR矢川駅南側の周辺道路

- 防災や救命の観点から、消防車などの緊急車両が入れない狭い道路がある
- 東西に円滑な移動ができる道路がないため、駅へのアクセスが困難である（写真⑥）

■矢川駅南口駅前広場(交通広場)等の整備の概要

交通広場

だれもが安全で快適に利用できる空間づくり(交通結節機能)

交通広場は、人々が移動をする際、鉄道やバス、タクシー、送迎用自家用車など、さまざまな交通手段をつなぐ場所です。そのため、このような自動車の乗降場が配置された交通広場を計画します。北口交通広場は、敷地の拡張を予定していないため、JR矢川駅の交通広場に必要な機能を、南北2つの広場に分担します。

にぎわいに満ちた魅力ある空間づくり(都市の広場機能)

交通広場は、JR矢川駅や周辺地域のイメージを表す重要な公共空間です。都市の広場機能をもつ環境空間として、交流、防災、景観・サービスといった機能を、イベント広場や休憩スペース、また、災害時の一時避難・集合スペース、植栽などの緑や、乗降場のシェルター、案内サインや郵便ポストなどにより創り出します。



周囲と一体となった空間づくり

交通広場に隣接する道路の歩道は、交通広場の歩行者空間と一体的に、連続的に整備することで、広場空間と連続する防災性の高い歩行者空間を創り出すことができます。

市機能
整備等

矢川駅周辺基盤整備計画

交通広場などの基盤整備は都市計画事業で進めること、交通広場を矢川通りに隣接させることなどを示しています。

矢川駅南口駅前広場 (交通広場)等の都市計画素案



オープンハウス等での意見

交通広場、取付道路整備の検討にあたり、令和5年度にオープンハウス(まちかど報告会)、意見募集(パブリックコメント)、市民意見交換会(南区公会堂ほか4会場)、個別意見交換(自治会・町会・商店会・事業者)を実施し、皆様のご意見を伺いました。



JR矢川駅で実施したオープンハウスの様子

●オープンハウス

- ・JR南武線連立事業とセットで広場整備を進めるべき
- ・タクシー乗り場がほしい
- ・バス停の機能は重要

●意見募集(パブリックコメント)

- ・狭あい道路を解消してほしい、緊急車両が入れない
- ・歩行者優先のゾーニングをしてほしい
- ・早期実現を希望する
- ・“季節を感じられる”道路沿いの木々がほしい

●市民意見交換会

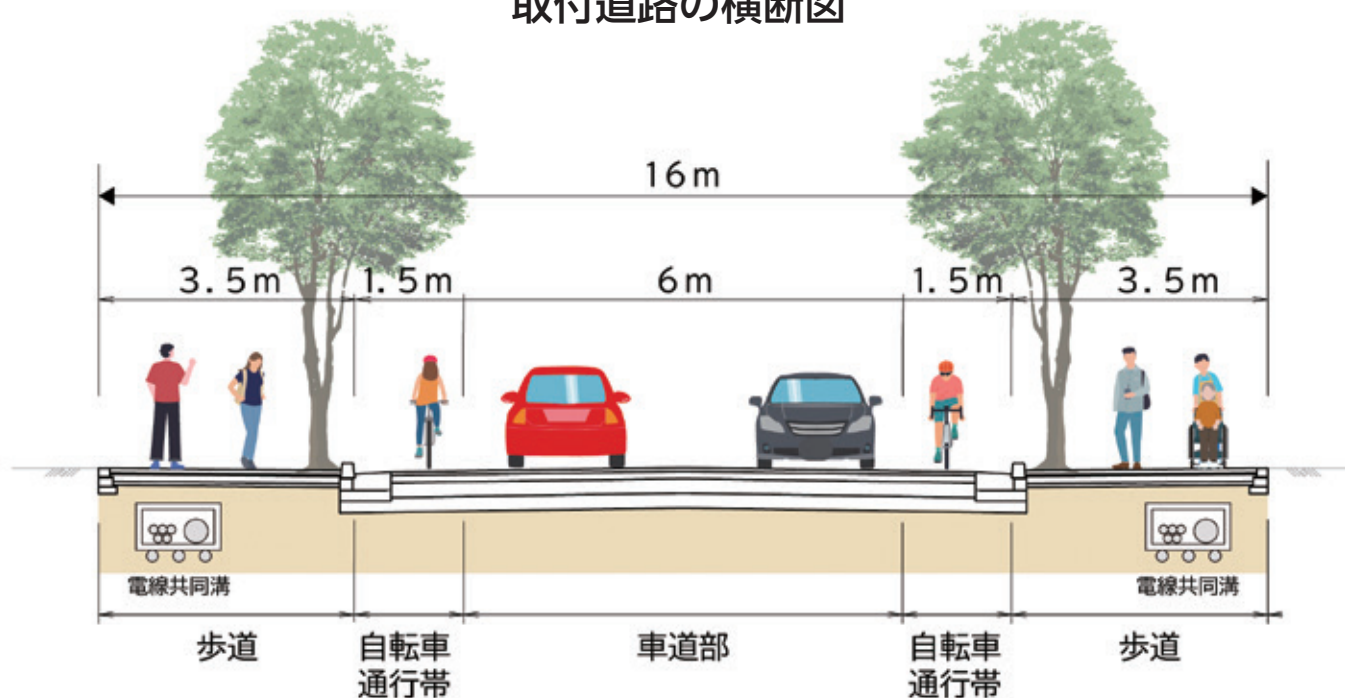
- ・送迎用に何台か停められるスペースはほしい
- ・取付道路は安全性も重視してほしい
- ・バスの本数が少ない、便を増やしてほしい

●個別意見交換

- ・千鳥道に車が集中するので、東西道路がほしい
- ・電柱は、車との接触事故や景観に支障、無電柱化が良い
- ・北口のバス停により混雑が激しく歩行者が危険
- ・北口横断歩道を短くしてほしい

取付道路

取付道路の横断図



交通広場へアクセスする取付道路の横断図です。

- ▶歩道：3.5m
- ▶自転車通行帯：1.5m
(歩道と分離する構造)
- ▶車道：6m
(1車線の幅員は3m)

上記を合わせると全体で16mの幅員となります。

歩道部には植樹ます等を設け、街路樹による沿道緑化や、無電柱化に必要な電線共同溝の埋設等を想定しています。

※いただいた意見は、個人が特定できない形で公表する場合があります。意見に対して個別の回答はしませんので、ご了承ください。
※意見のうち、個人または法人その他の団体の権利や利害を害するおそれがある情報等が含まれる場合は、その全部または一部を公表しません。